

「兵庫県内の重要里地里山を歩いてめぐる」

コース・専攻：生活環境コース

グループ名：里山6（シックス）

メンバー：垣内正充 木村泉 坂本幸子 西尾正博 東伸子 山中喜代美

2015年に環境省は良好な里地里山を次世代に引き継いでいく自然環境の一つで有ると位置づけ、生物多様性上重要という観点から全国の500カ所を選定した、このうち兵庫県には24カ所の地域が該当している。選定後すでに約10年が経過した現在において、兵庫県の12カ所の地域のフィールドワーク調査を行い状況（里地里山状況、保全管理状況、生物多様性等）を確認した。

12カ所のリスト

・藍那地区（兵庫県神戸市）・県立有馬富士公園（兵庫県三田市）・県立三木山森林公園（兵庫県三木市）・県立やしろの森公園（兵庫県加東市）・黒谷の棚田（北淡路の棚田・ため池群）（兵庫県淡路市）・遠阪地区（兵庫県丹波市）・黒川周辺の里山（兵庫県川西市、川辺郡猪名川町）・豊岡盆地・円山川・六方川・田結川（兵庫県豊岡市）・渦が森（兵庫県神戸市灘区）・甲山グリーンエリア（兵庫県西宮市）・いなみ野ため池ミュージアム（兵庫県明石市、加古川市、加古郡稲美町、高砂市、加古郡播磨町）・西谷地区（兵庫県宝塚市）

当初、フィールドワークを開始する前には、現在の里地里山には多くの課題（里山林の荒廃、耕作放棄地の増加、土砂災害や外来生物・有害鳥獣被害の増加等）が有り、改善提案すべき内容が多くあると予想していた。しかしながら、12カ所をフィールドワークで歩き調査を行ったところ、選定後、約10年後経過の現在でもほぼ（一部に耕作放棄、老朽化、集客力の弱体化等の個々の課題、共通の課題として伐採材木の循環利用の困難さやボランティアの減少と高齢化などの課題はあるが）全体としては里地里山環境は保全されていた。これは、里地里山を守る制度（重要な里地里山500）で選定された地域は、国民にとって重要な場所であり、将来にわたり守る事が必要であると明示されることによって、それぞれの

地域に合った保全活動方針作成や保全活動内容の方向性の明確化や活動する人のモチベーションが維持出来るなど、保全が継続的に行われてきた結果である。

フィールドワークでは、それぞれの地域を歩きめぐることによって、生物多様性の豊富さ、景観性、豊かな自然、文化・歴史、学習体験等の教育的要素、インフラ、資源の利用と循環、管理維持状況（ボランティア等）、広報活動等に直接触れる事が出来て有意義で楽しく活動ができた。

